



自然資本戦略

Strategy

日本製紙グループの経営戦略は、2050年の社会課題から逆算する「バックキャスト」と、現在の強みを起点とする「フォアキャスト」の二つの視点を融合させることで導き出したものであり、経営戦略を実現するための「自然資本戦略」もこの視点に基づき策定しています。

バックキャストの視点では、2050年に想定される世界人口の増加、食料・水不足、気象災害の激化といった社会課題を抽出し、それらの課題における当社グループの社会的な役割、あるべき姿を検討し、「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」「ネイチャーポジティブ」を自然資本戦略における3つの柱として策定しました。一方、フォアキャストの視点では、事業活動における自然資本への依存と影響を深く分析し、現在の取り組み状況、当社グループの強みを考慮して、3つの柱を実現するための自然資本戦略を策定しました。

当社グループは、自然資本戦略を確実に実行することで、企業価値の向上と持続可能な社会の構築とともに追求していきます。

